

事業番号	0	3	5
実施計画事業			
実施計画事業以外の事業	○		

令和元年度 事務事業評価シート

1. 事業の概要

事務事業名	高齢者世話付住宅援助員派遣事業				担当部	健康福祉部					
事業期間	平成7年度 ~ 令和2年度以降				担当課	長寿・障がい福祉課					
新基本計画 (平成26年~平成30年)	基本施策	08	展開方向	2							
予算区分	一般会計	款	03 民生費	項	02	目	01	大	03	中	06

2. 実施状況

県営岩崎住宅及び県営北外山住宅内のシルバーハウジングにおいて、1日1回生活援助員が訪問または電話で必要に応じ、以下のサービスを行うことによって、地域で自立した安全かつ安心な生活を営むことができるようにした。

サービス: 生活指導・相談、安否の確認、一時的な家事援助、緊急時の対応、
関係機関等との連絡、その他日常生活に必要な援助
戸数: 岩崎 30戸、北外山 24戸

3. 総合診断

事業費	項目	単位等	H27	H28	H29	H30	R1		
			直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	3,817	4,605
			国・県支出金	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	
			計(A)	千円	3,817	4,605	6,272	6,595	
			対前年比	%	-	120.6%	136.2%	105.1%	
			(当初)予算額	千円	9,826	8,766	8,441	7,393	7,719
	人件費		正職員	人	0.05	0.05	0.05	0.05	
			正職員(平均人件費)	千円	374	374	374	374	
			その他職員	人	0	0	0	0	
			その他職員(時給×年間時間)	千円	0	0	0	0	
			計(B)	千円	374	374	374	374	
			事業費合計(C=A+B)	千円	4,191	4,979	6,646	6,969	
指標	成果指標	派遣世帯数	目標	-	-	-	-	-	
			実績	50	52	54	54		
	活動指標	生活援助員派遣日数(延べ)	目標	-	-	-	-	-	
			実績	486	486	490	488		
			目標						
			実績						
@事業費	受益者数(a)	人	50	52	54	54			
		受益者あたり事業費(b=C/a)	円	83,826	95,756	123,080	129,062		

診断結果	改善点は見られない	改善点が若干見られる	○	大いに改善すべき
	<p>成果指標である派遣世帯数については、近年満室が続いており、シルバーハウジングの入居者が減少する兆しはない。また、近年、県営住宅の高齢化が進み、緊急事態の対応などを進めるに伴い、地域でのつながりを生み出す事業を高齢者世話付住宅派遣援助員を軸として展開していく必要がある。</p>			

4. 総合評価

事業の方向性 削減額・対象	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの			
	事務事業評価による額	千円	予算区分	節	節
評価結果	<p>○引き続き事業を実施し、高齢者が自立した安全で快適な生活を営むことができるよう、在宅生活の支援を図る。 ○生活支援付きの住宅への入居需要は高く、更なる世話付住宅の充実を図る。 ○シルバーハウジング入居者同士・地域の方々と入居者の方々とのふれあいの場として、交流会を実施します(年2回)。</p>				